テラッツァスクリーン・竹

取付説明書 ーA型・B型・C型・D型ー

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

＜施工の前に＞

■正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
■施工を始めてから手直しがでないように、事前に調査や打合せを十分に行なってください。
■テラッツァシリーズは、住居のバルコニー部に施工していただく製品です。特にマンションやアパート等、集合住宅のバルコニー部へ施工をする際は、下記の「集合住宅に施工する際のご注意」の内容に十分注意してください。
■集合住宅に施工する際のご注意
- 管理組合等へ事前に施工の了解をとってください。
- 非常時に通路となる場所に製品を設置しないでください。
- エレベーター等の公共施設を使用する際は十分注意してください。
- バルコニー部は私的所有スペースではありませんので、床や壁に孔をあけないようご注意ください。
- 施主様立ち会いのもとで施工してください。
- 施工中の部材・部品等の落下には十分ご注意ください。

■施工終了後、「取付説明書」は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

■ネジ類はたたき込みをせずに、確実に締め付けてださい。
■部材切断時に切り粉等の粉塵を吸い込まないよう、注意予防してください。

■梱包明細書

1 テラッツァスクリーン(A型・B型・C型・D型)

名　　称	員数
スクリーン	1
取付説明書	1
ウッド製品取扱説明書	1

2 パラペット用取付柱Bセット

名　　称	員数
スクリーン柱(パラペット用)	1
スライド柱	1
上部取付金具	1
下部取付金具	1
金具C	1
金具D	1
金具E	2
金具F	1
金具F取付裏板	1
側溝金具A	1
側溝金具B	1
保護パッキン	2
M6×16六角ボルト	1
M6×12角根丸頭ボルト	4
M6六角袋ナット	4
M6バネ座金	4
M6平座金	4
φ4×10トラス3種ネジ	3
φ4×13ナベピアスネジ	2
φ4×20トラス2種ネジ	1
M4平座金	1
M5×8座金組込み六角ボルト	1

3 手すり用取付柱Bセット

名　　称	員数
スクリーン柱(手すり用)	1
スライド柱	1
上部取付金具	1
金具C	1
金具D	2
金具E	4
金具F	2
金具F取付裏板	2
保護パッキン	4
M6×16六角ボルト	2
M6×12角根丸頭ボルト	6
M6六角袋ナット	6
M6バネ座金	6
M6平座金	6
φ4×10トラス3種ネジ	2
φ4×13ナベピアスネジ	2
φ4×20トラス2種ネジ	1
M4平座金	1
M5×8座金組込み六角ボルト	2

4 スクリーン連結金具セット

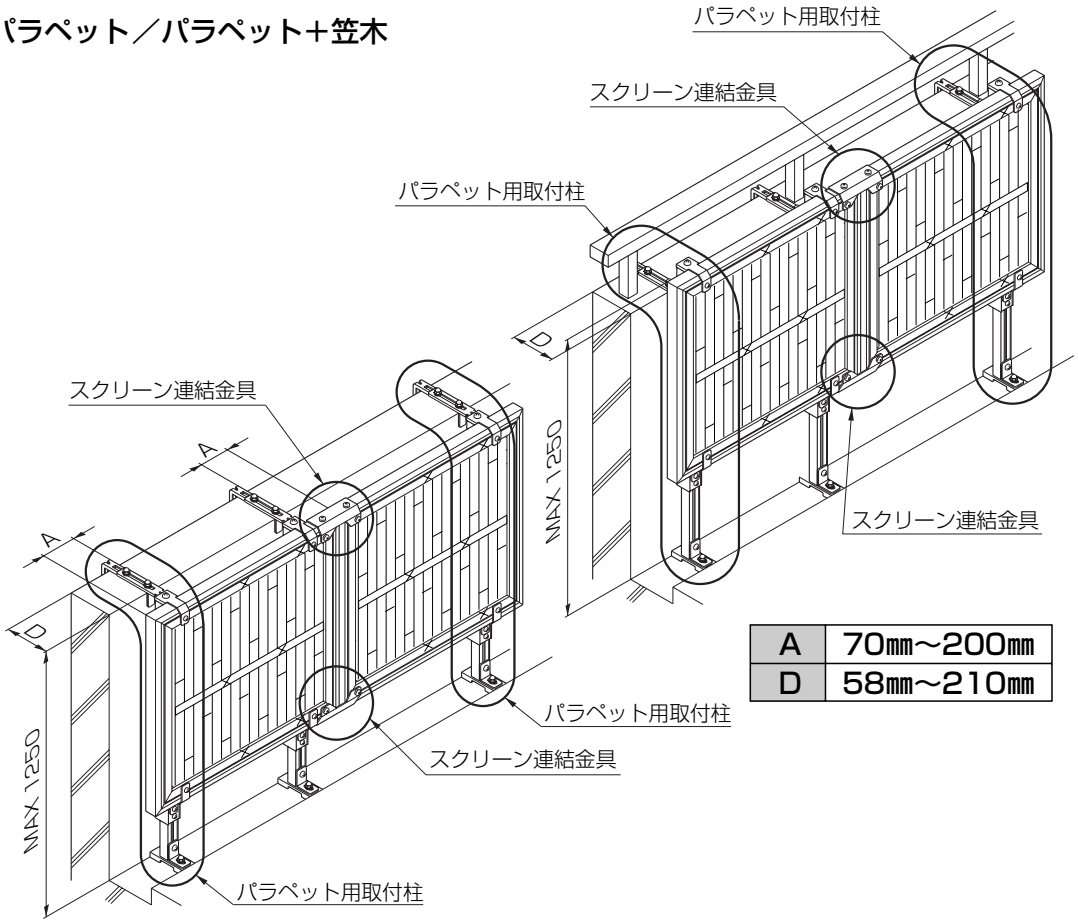
名　　称	員数
スクリーン連結金具	2
φ4×13ナベピアス	7

5 笠竹(オプション)

名　　称	員数
笠竹(シュロ縄4ヶ付)	1
φ4×35ナベピアス	4

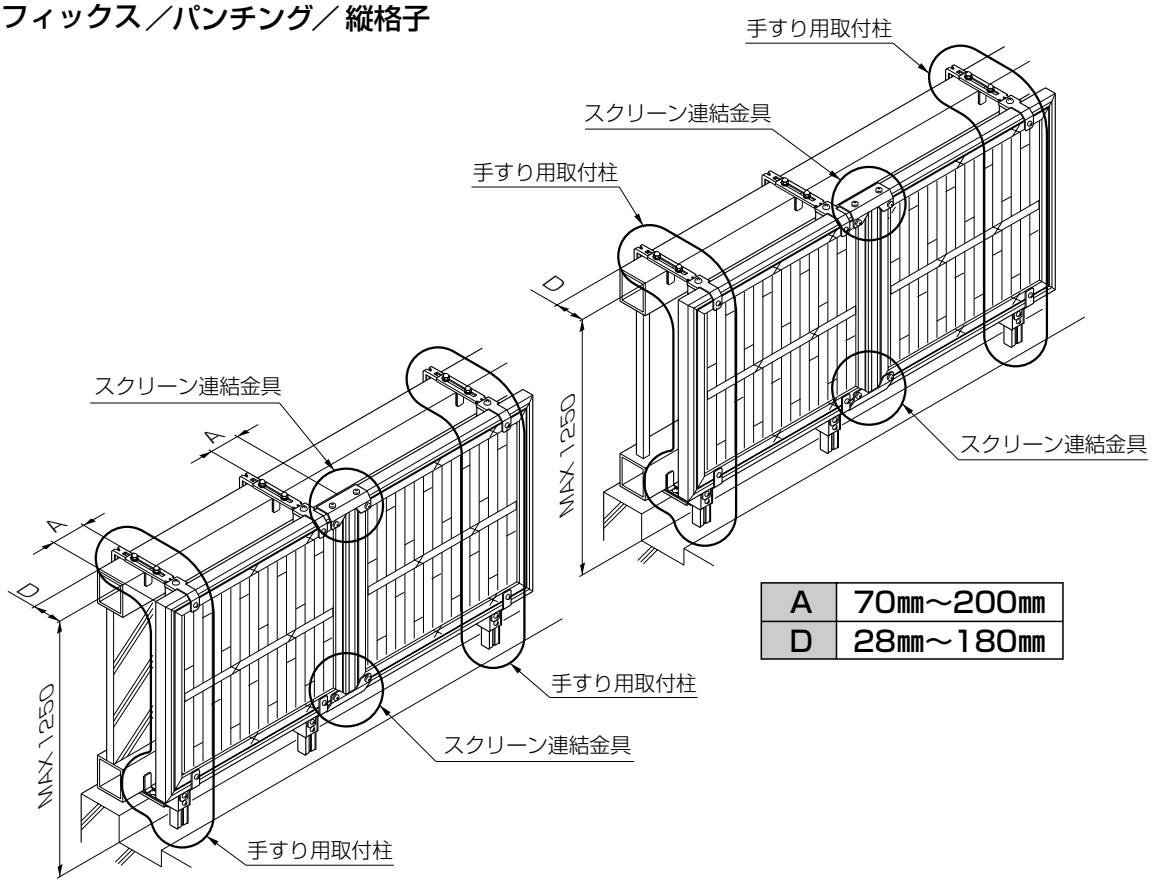
1. スクリーン取付柱と連結金具の設置場所

1-1 パラペット／パラペット＋笠木



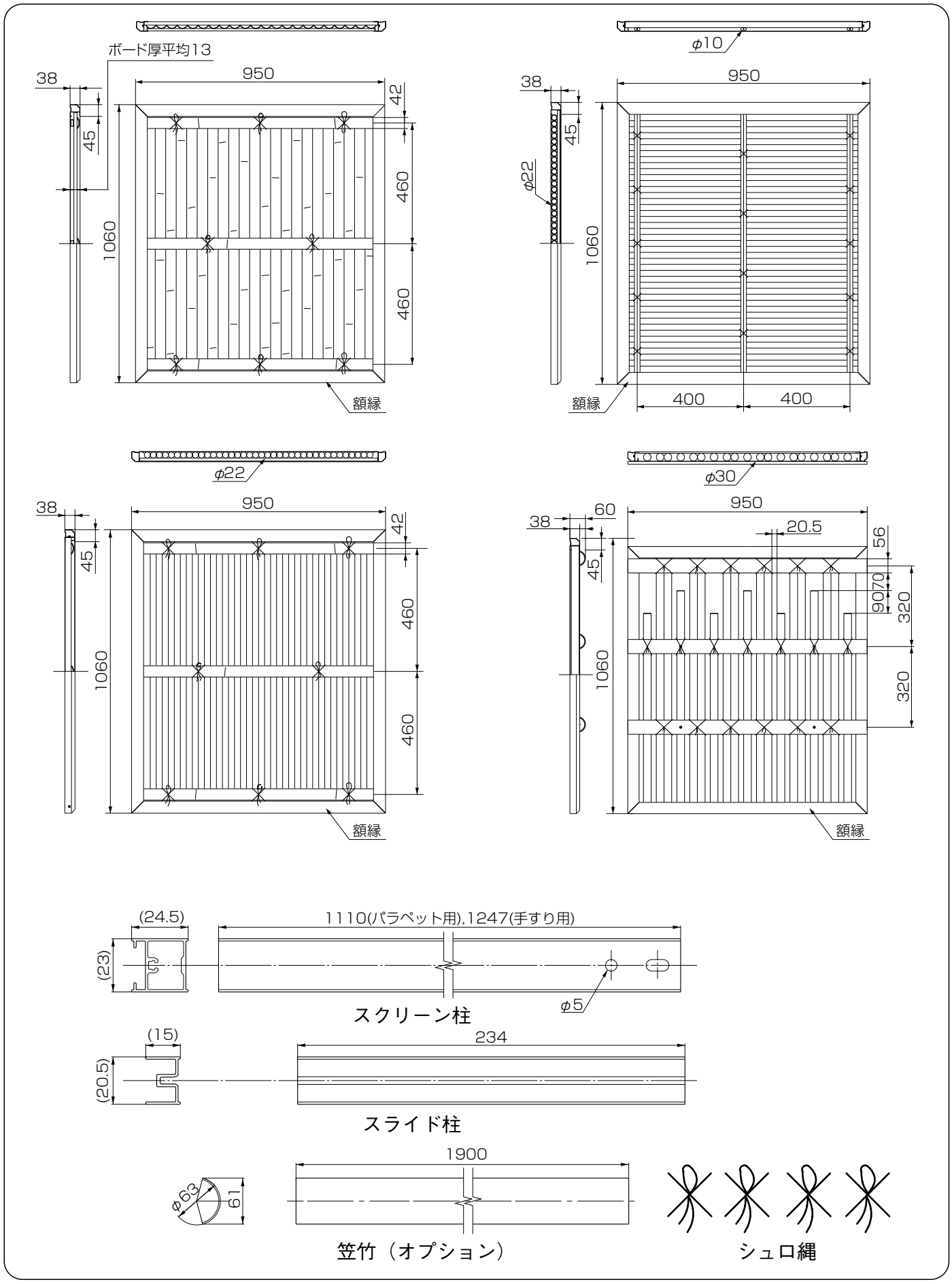
A	70㎜～200㎜
D	58㎜～210㎜

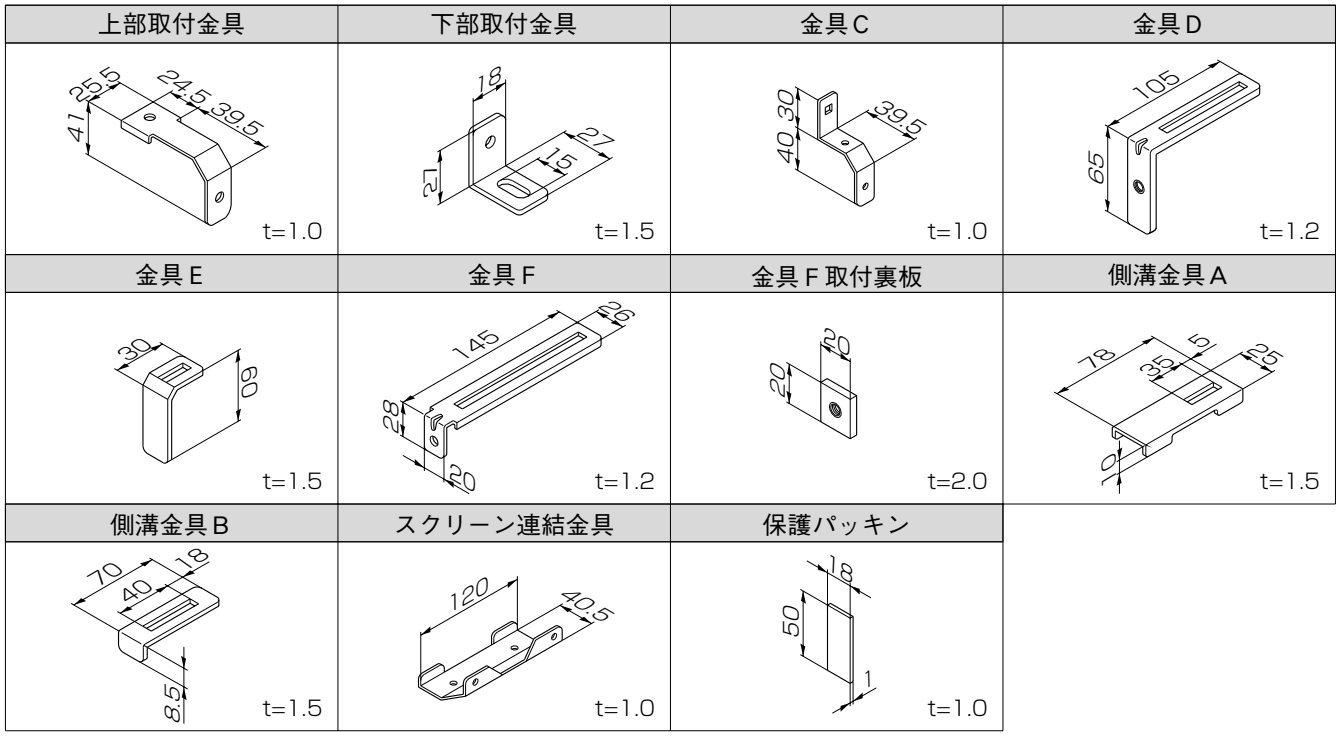
1-2 フィックス／パンチング／縦格子



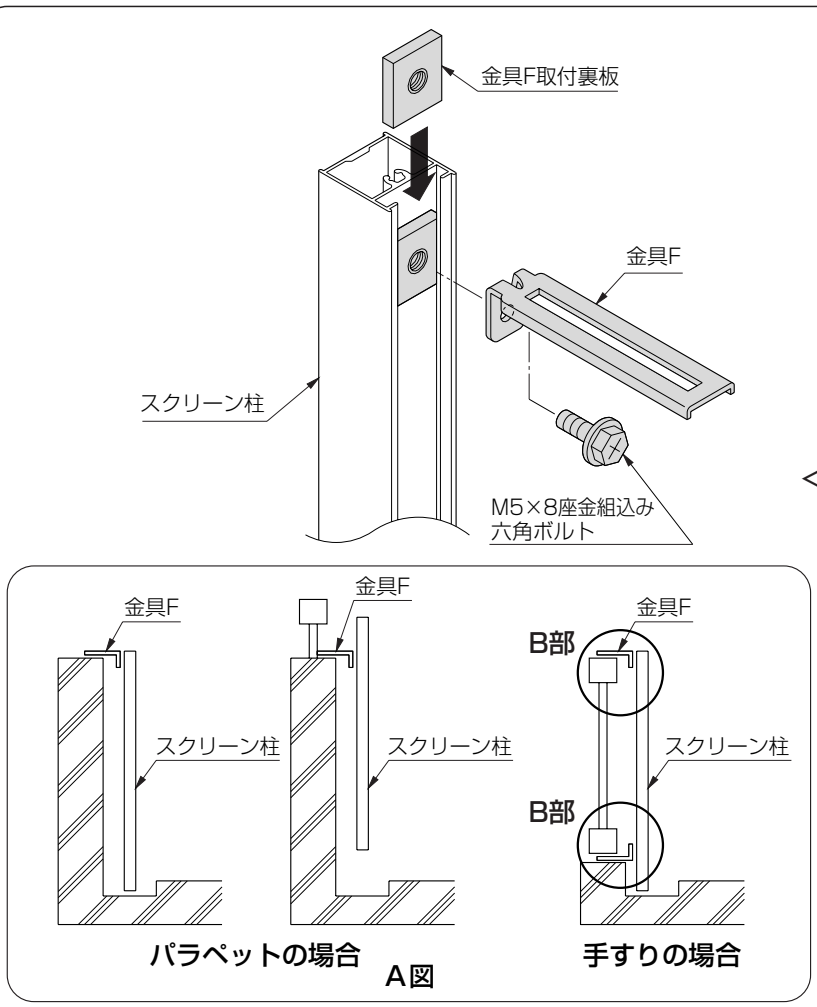
A	70㎜～200㎜
D	28㎜～180㎜

2. 姿図および各部名称 ※各スクリーンは額縁に特殊な加工がある為、現場切詰対応が不可能です。





3. 金具Fの取付け



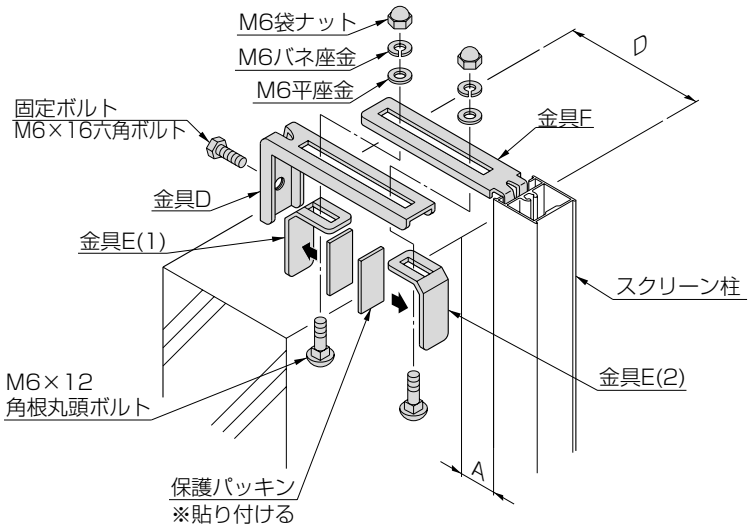
❶ 金具Fをスクリーン柱に、金具F取付裏板とM5×8座金組込み六角ボルトで取付けてください。

<注 意>

- パラペットへの取付けの場合は上部へ1ヶ所、手すりへの取付けの場合は上下2ヶ所取付けてください。(A図参照)
- 手すりへの取付けでは、上下の金具を反転させて取付けると、取付け強度がアップします。(B部参照)
- スクリーン柱の天端が、実際にスクリーンが取付く天端になります。

4. スクリーン柱の取付け(パラペット部)

4-1 D寸法が58㎜～105㎜の場合



<注 意>

● A部(壁面からスクリーン柱間)が、D寸法により10㎜～40㎜位離れます。

❶ スクリーンを取付ける高さを確認のうえ、金具F,D,Eと保護パッキンを組合わせ、ナットでしっかり締め込んでください。(ナットは2ヶ使用)

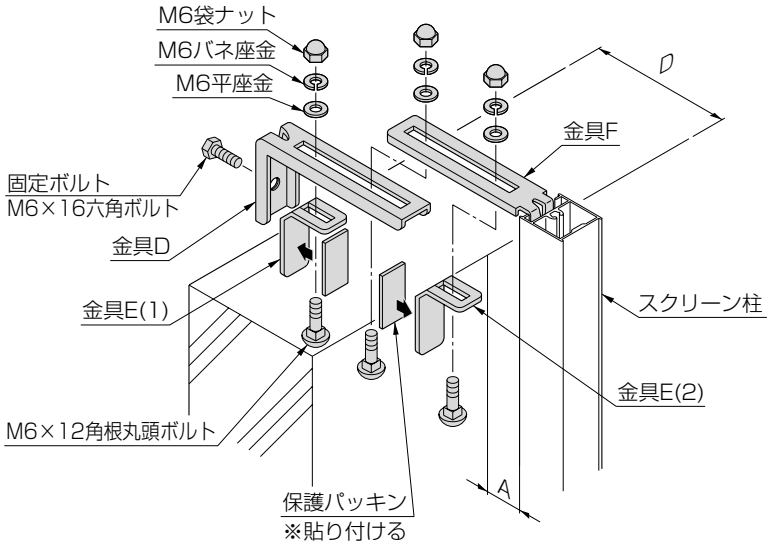
<注 意>

● 金具E(1)は仮締めにしてください。

❷ 固定ボルトを適度に締め込み、スクリーン柱を固定してください。

❸ 金具E(1)のナットを適度に締め込みます。

4-2 D寸法が98㎜～180㎜の場合



<注 意>

● A部(壁面からスクリーン柱間)が、D寸法により40㎜～60㎜位離れます。

❶ スクリーンを取付ける高さを確認のうえ、金具F,D,Eと保護パッキンを組合わせ、ナットでしっかり締め込んでください。(ナットは3ヶ使用)

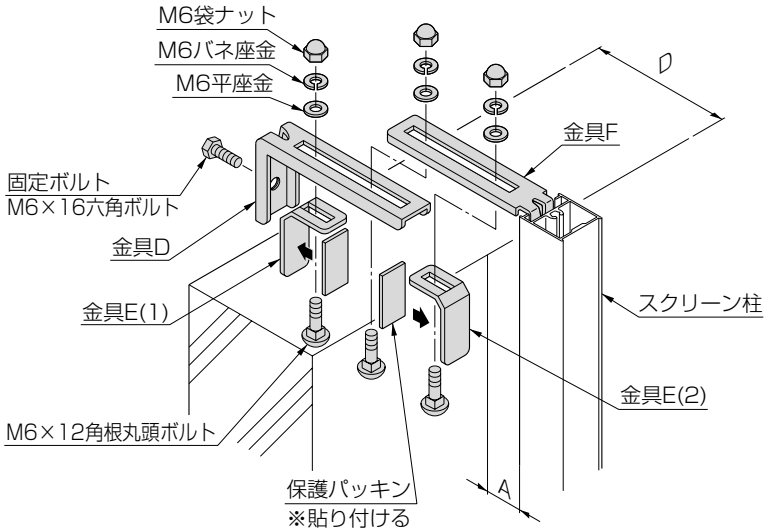
<注 意>

● 金具E(1)は仮締めにしてください。

❷ 固定ボルトを適度に締め込み、スクリーン柱を固定してください。

❸ 金具E(1)のナットを適度に締め込みます。

4-3 D寸法が128㎜～210㎜の場合



<注 意>

● A部(壁面からスクリーン柱間)が、D寸法により10㎜～36㎜位離れます。

❶ スクリーンを取付ける高さを確認のうえ、金具F,D,Eと保護パッキンを組合わせ、ナットでしっかり締め込んでください。(ナットは3ヶ使用)

<注 意>

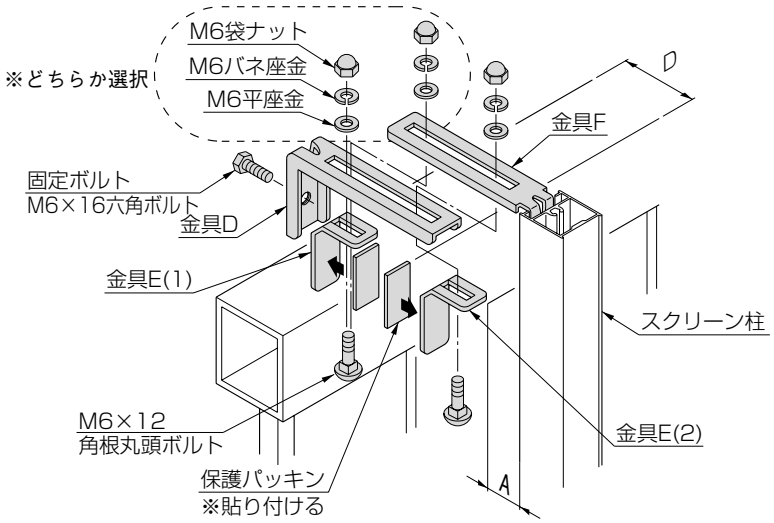
● 金具E(1)は仮締めにしてください。

❷ 固定ボルトを適度に締め込み、スクリーン柱を固定してください。

❸ 金具E(1)のナットを適度に締め込みます。

5. スクリーン柱の取付け（手すり部）

5-1 D寸法が28㎜～78㎜の場合



<注 意>

● A部(手すり面からスクリーン柱間)が、D寸法により40㎜～145㎜位離れます。

❶ スクリーンを取付ける高さを確認のうえ、金具F,D,Eと保護パッキンを組合わせ、ナットでしっかり締め込んでください。(ナットは2ヶ使用)

<注 意>

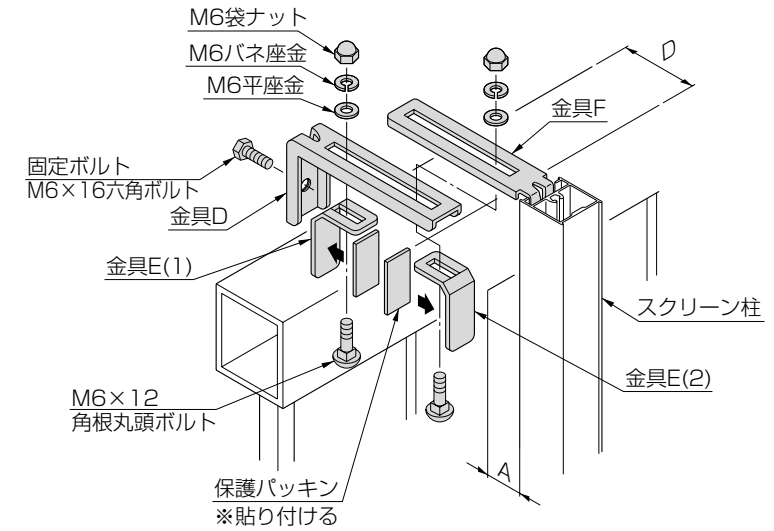
● 金具E(1)は仮締めにしてください。

❷ 固定ボルトを適度に締め込み、スクリーン柱を固定してください。

❸ 金具E(1)のナットを適度に締め込みます。

❹ 上下とも同じように取付けてください。

5-2 D寸法が58㎜～105㎜の場合



<注 意>

● A部(手すり面からスクリーン柱間)が、D寸法により105㎜～115㎜位離れます。

❶ スクリーンを取付ける高さを確認のうえ、金具F,D,Eと保護パッキンを組合わせ、ナットでしっかり締め込んでください。(ナットは2ヶ使用)

<注 意>

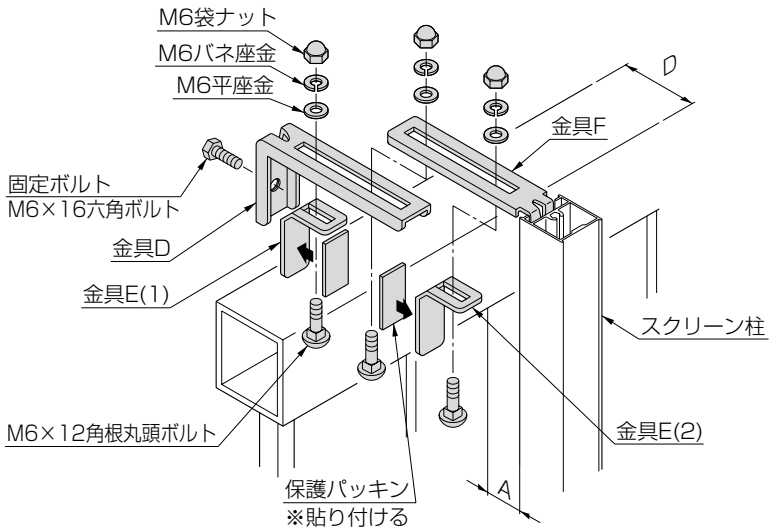
● 金具E(1)は仮締めにしてください。

❷ 固定ボルトを適度に締め込み、スクリーン柱を固定してください。

❸ 金具E(1)のナットを適度に締め込みます。

❹ 上下とも同じように取付けてください。

5-3 D寸法が98㎜～180㎜の場合



<注 意>

● A部(手すり面からスクリーン柱間)が、D寸法により38㎜～125㎜位離れます。

❶ スクリーンを取付ける高さを確認のうえ、金具F,D,Eと保護パッキンを組合わせ、ナットでしっかり締め込んでください。(ナットは3ヶ使用)

<注 意>

● 金具E(1)は仮締めにしてください。

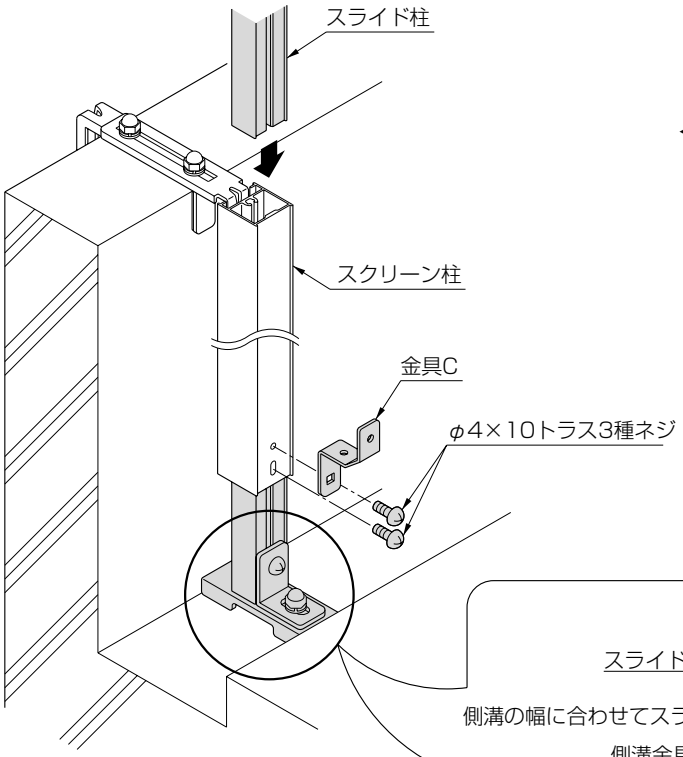
❷ 固定ボルトを適度に締め込み、スクリーン柱を固定してください。

❸ 金具E(1)のナットを適度に締め込みます。

❹ 上下とも同じように取付けてください。

6. スライド柱の取付け

6-1 パラペットの場合



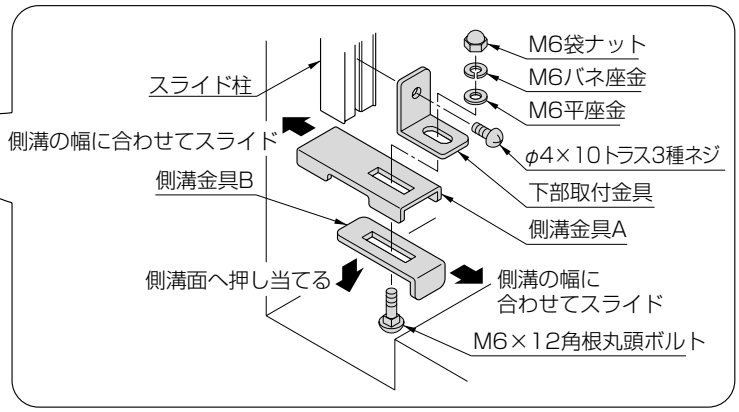
❶ スライド柱をスクリーン柱内部へ落し込み、スライド柱下部に下部取付金具と側溝金具A,Bをそれぞれ取付けてください。

<注 意>

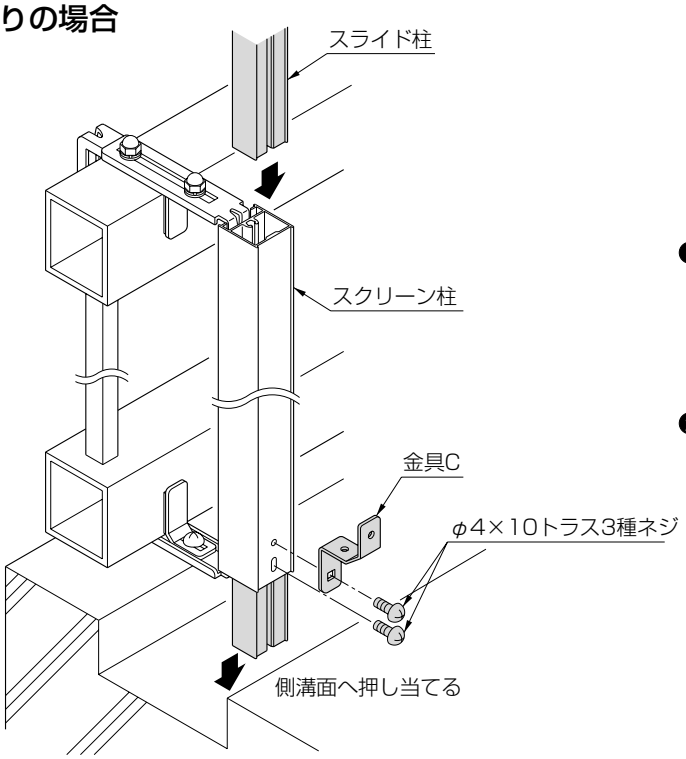
● 側溝の幅がある場合は、側溝金具A,Bをサイドにスライドし、側溝幅に合わせるように調整してください。(前後のズレを防止します。)

❷ スライド柱を側溝面に押し当てるようにして、スクリーン柱の長孔部にφ4×10トラス3種ネジで固定してください。

❸ スクリーン柱がしっかり固定されたことを確認後、金具Cをスクリーン柱の丸孔部にφ4×10トラス3種ネジで取付けてください。



6-2 手すりの場合

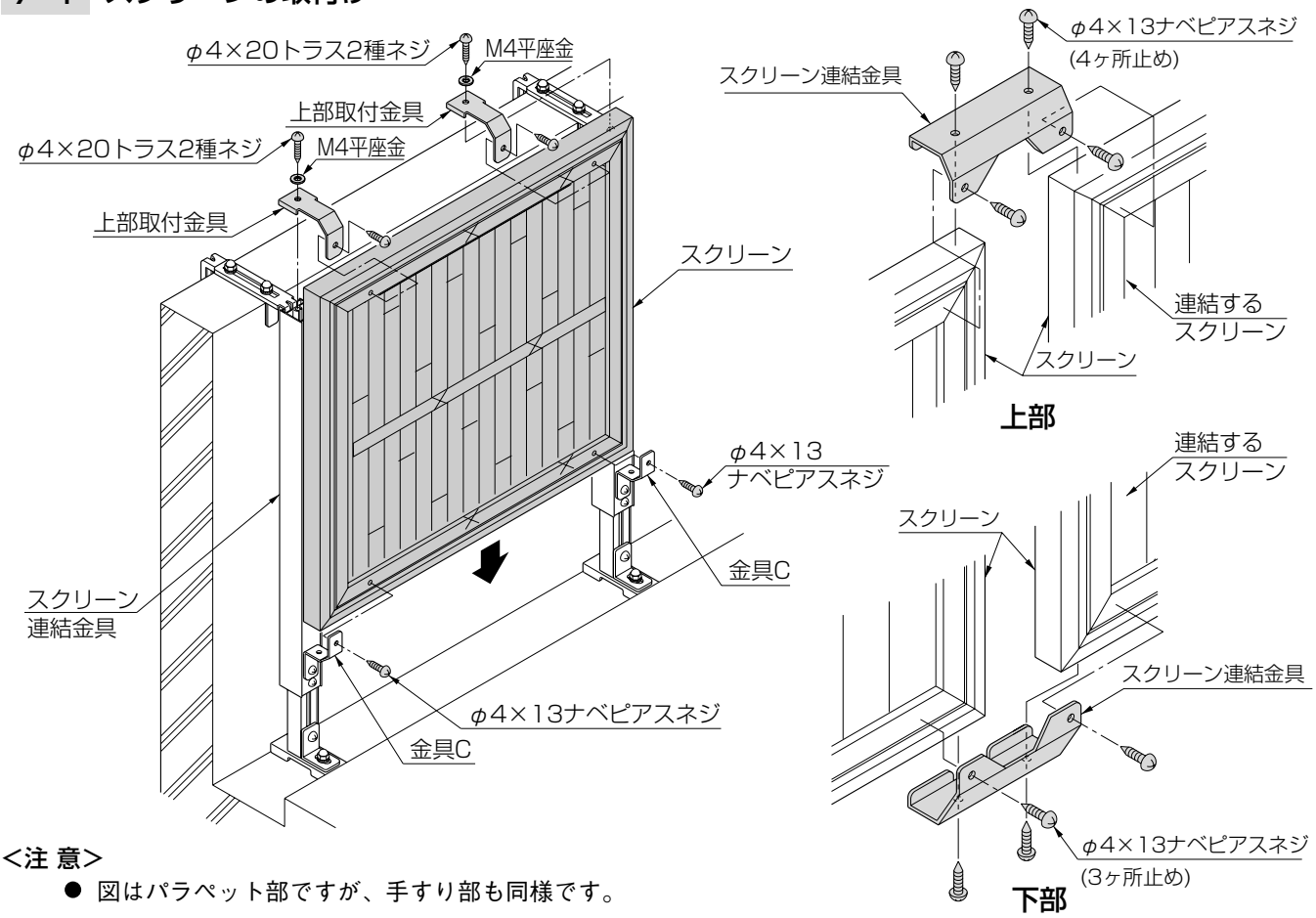


❶ スライド柱をスクリーン柱内部へ落し込み、側溝面に押し当てるようにして、トレリス柱の長孔部にφ4×10トラス3種ネジで固定してください。

❷ スクリーン柱がしっかり固定されたことを確認後、金具Cをトレリス柱の丸孔部にφ4×10トラス3種ネジで取付けてください。

7. スクリーンの取付け

7-1 スクリーンの取付け



<注 意>

- 図はパラペット部ですが、手すり部も同様です。

❶ スクリーンを金具Cに乗せ、上部取付金具をスクリーン柱の上面にはめ、φ4×20トラス2種ネジで取付けてください。

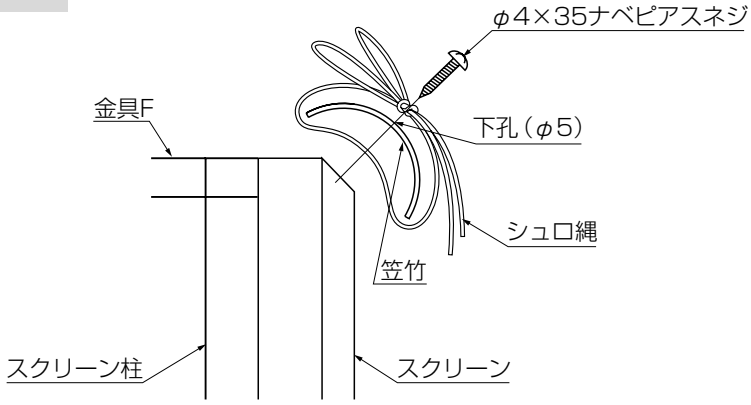
❷ スクリーンの取付位置を確認後、上部取付金具と金具Cの丸孔にφ4×13ナベピアスネジをとめ、スクリーンを固定してください。

❸ スクリーンの連結はスクリーン連結金具を上下各々の額縁へ、φ4×13ナベピアスネジで取付けて連結してください。

<注 意>

- 下の連結金具はあらかじめ連結するスクリーンに取付けて（2ケ所ネジ止め）からお使いください。

7-2 笠竹（オプション）の取付け



❶ 笠竹に4ヶ所（φ5）取付け孔をあけてください。

<注 意>

- 笠竹の中心線上でシュロ縄が取付く位置にあけてください。

❷ スクリーン額縁のV溝位置へφ4×30ナベピアスネジで取付けてください。

❸ 止めたネジ部へシュロ縄を移動させるとネジ頭が隠せます。

取説コード
F171
200102A